

「ありがとう」を力に

今日もJALグループの翼をお選びいただき、ありがとうございます。

日本では卒業や異動の季節。出会った人や思い出を育んだ環境へ、改めて感謝の気持ちを抱かれる方も多いのではないのでしょうか。

私がこの時期、特に思い出すのは、地元福岡を出る直前の両親とのやり取りです。人生の大きな決断に悩む中、父とのドライブでの会話と、母が書き置いてくれたメッセージで、霞がかつていた視界がすっと開けて、進む道を決められたことがありました。思えば、そんな両親への感謝の気持ちがいとも心の奥にあったから、その後の道を前向きに歩んでこられたのかもしれない。新天地へと旅立つ方も、それを見送る方も、きっと「ありがとう」の気持ちが新しいステージでの糧になってくれると思います。

そんな「ありがとう」は、時に旅先に対しても抱く想いです。例えばハワイ。多くの旅行者を癒やし、魅了してきたその雄大な自然や多彩な文化は、現地の人々が長い時間をかけて丁寧に守り、紡いでくださったものです。JALにとっても長年お世話になっている大切な地へ、何か恩返しのようなことができないだろうか。そんな社員たちの想いから、昨年『JAL Mahalo (マハロ) 運賃』という運賃が生まれました。ハワイ語で「ありがとう」を意味する「Mahalo」と名付けられたこの運賃は、その一部相当額がハワイの環境・文化保護活動につながる仕組みになっており、同じくハワイ



を愛し、役に立ちたいと願うお客さまにお選びいただいています。こうして、お客さまとその地への愛情や感謝の気持ちを重ね合わせられることもまた、「Mahalo」です。

ハワイに限らず、私たちが旅先で豊かな時間を過ごせるのは、その地域独自の魅力に心を動かされるからです。それぞれの地への感謝の気持ちを力に、訪れる側も迎える側も、誰もが心地よく過ごせる旅をつくり、何度も何度も繰り返し足を運ぶようなつながりをつくっていきたいと思います。

次回のご搭乗も心よりお待ちしております。

イラスト／山本祐希子

とっとりみつこ／1964年、福岡県久留米市生まれ。1985年4月入社（客室乗務員）。2019年に客室安全推進部部長、2020年に執行役員 客室本部長、2022年に常務執行役員 客室本部長、2023年に専務執行役員 カスタマー・エクスペリエンス本部長に就任。同年6月に代表取締役専務執行役員グループCEOに就任し、翌2024年4月から現職。趣味は音楽鑑賞と大河ドラマを見ること。

